

4. 新成長戦略の実行加速と強化・再設計
(2) 分厚い中間層の復活（社会のフロンティアの開拓）
② 我が国経済社会を支える人材の育成

＜基本的考え方＞

略

「新たな時代の開拓者たらん」という若者の大きな志を引き出し、自ら学び考える力を育む教育などの人材の開拓につながるフロンティアを提示していく必要がある。産業構造の変化や新たな国際分業等に対応するために求められる人材ニーズを踏まえ、産学官の連携の下、人材育成システムの再設計を図り、人材の底上げやニーズに対応した多様な人材の育成を実現する。このため、我が国経済のインクルーシブな成長を目指し、産学の連携・協力を図りながら、成長分野やものづくり分野における職業教育・職業訓練や、いわゆる「手に職を持つ」、「技術や専門性を有する」自営業者や個人事業主を育成するなど自立するための職業教育・職業訓練を強化し、実践的な職業能力評価の仕組みの導入を図る。また、若者の国際的視野を涵養する取組を推進し、語学力・コミュニケーション能力を含め、新たな価値やビジネスを創造できる能力を持つ人材を育成することが必要である。さらに、こうした方向に資する教育改革に取り組む。これらの取組を通じて、社会経済を支える人材の底上げやグローバルに通用する高度人材の育成・確保を図る。

＜当面、重点的に取り組む主な施策＞

- 社会を生き抜く力の養成
- 教育と職業の円滑な接続
- グローバル人材の育成
- 企業の採用慣行改革の促進
- 産学官が連携した職業教育や職業訓練の強化

- (2) 分厚い中間層の復活（社会のフロンティアの開拓）
② 我が国経済社会を支える人材の育成

○ 社会を生き抜く力の養成
地域社会と連携しつつ、さめ細やかで質の高い指導や協働型学習の実現等の初等中等教育の充実、高等教育での専門分野の枠を超えた教育の強化等を行う。

○ 教育と職業の円滑な接続
職業意識をばぐむため、初等中等教育から職業に関わる教育を進めるとともに、高等教育で人材像や能力の明確化を進めるなど、産業界の協力を得て、教育と職業の円滑な接続を図る。

○ グローバル人材の育成
高等教育機関の国際化を図るとともに、外国人留学生等の受け入れ及び若者の留学の推進を図るなど、若者の国際的視野を涵養する取組を推進する。

○ 企業の採用慣行改革の促進
産学協働人材育成円卓会議の活用等を通じ産学の共通理解を醸成し、通年採用や卒業後3年以内の新卒扱い、ギャップイヤーの普及・促進、採用活動の早期化・長期化の是正等、企業の採用慣行の改革を促す。

○ 産学官が連携した職業教育や職業訓練の強化
成長分野やものづくり分野において、必要な人材を質量面で育成するため、在職者訓練を含めた産業界と教育機関等が連携した職業訓練の強化、地域において産学官が連携して職業訓練を実施する取組の推進や、中核的専門人材養成などの職業教育の充実を図る。

○ 実践キャリア・アップ戦略の推進
これまでの実践キャリア・アップ戦略の検討結果を踏まえ、地域産業の高度化や新産業分野での専門的人材育成に資する仕組みや育成プログラムの整備等を推進する。

グローバル人材育成推進会議 中間まとめ (抜粋)

平成 23 年 6 月
グローバル人材育成推進会議

2. グローバル人材の育成及び活用について

(1) 「グローバル人材」とは

「グローバル人材」の概念を整理すると、概ね、以下のような要素が含まれるものと考えられる。

- 要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力
- 要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感
- 要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

6. その他関連する重要課題について

○グローバル人材の育成・活用に関連するその他の課題としては、職業教育・職業訓練等の充実、国際的なボランティア活動の促進、更には、顕彰活動や産学の継続的な対話の場の設定等が重要である。

(1) グローバル化に対応した職業教育・職業訓練等の充実

☆高校・大学・専修学校等でのグローバル人材育成メニューの開発・提供を促進する。

【文】

(略)

(2) 国際的なボランティア活動の促進

(略)

☆青年海外協力隊を中核とする、JICA によるボランティアへの参加を促進する観点から、その経験を帰国後における社会の様々な分野での(特に女性の)活躍に有効につなげるための方策を、NGO・経済界等各方面の参画を得て検討する。【外、文、経】

(3) グローバル人材の育成に向けた環境整備等

☆グローバル人材の採用・活用に積極的な企業を大学関係者・団体が、グローバル人材の育成に積極的な大学・高校等を企業関係者・団体が、相互に連携して顕彰し合う。【文、経】

☆グローバル人材の育成のための産学関係者による継続的な対話の場(フォーラム・円卓会議等)を設定する。【文、経】

III. 成長分野における中核的専門人材養成を通じたグローバル化への貢献 関連